

平成 29 年度事業報告（案）

自平成 29 年 4 月 1 日
至平成 30 年 3 月 31 日

I. 組織としての課題

1. 会員拡大の目標

2, 100 件の会員数獲得の目標を立てた。3 月 31 日現在の会員数は、2, 078 件で、前年度比 38 件の増数である。

各支部窓口の来客者や、講習会、各種説明会等の場で積極的に加入を勧奨したこと。また、労働保険事務委託促進と並行に展開したことが功を奏した。

平成 29 年度 会員 異 動 状 況

(平成 29 年 04 月 01 日～平成 30 年 3 月 31 日)

支部名	平成 28 年度末 会員数	平成 29 年度中異動		現在会員数
		入 会	退 会	
那覇支部	641	23	14	650
中部支部	677	44	12	709
北部支部	255	1	5	251
宮古支部	236	2	6	232
八重山支部	220	6	1	225
小計	2,029	76	38	2,067
特別会員	11	0	0	11
合計	2,040	76	38	2,078

※ 特別会員内訳： 那覇（3）・中部（4）・北部（2）・八重山（2）

2. 本部活動報告

- (1) 11 月 8 日（水）から 10 日（金）の 3 日間、「安全、健康の未来を拓こう 神戸から」をテーマに国際都市である神戸で第 76 回全国産業安全衛生大会が開催された。全国から約 12, 000 名余の参加があり、県内の参加者は 62 名で、中災防の割当て人数 60 名を上回っての参加となった。
- (2) 毎月刊行誌の「協会だより」の巻頭は、年度 4 月から琉球工芸品をテーマにして発刊していくこととした。陶器、琉球漆器、琉球ガラス、紅型や織物の巻頭は読者から好評判であった。内容として、労働局、行政関係団体等のお知らせ

せなどを記載するとともに講習受講者、大会等参加者の感想コーナー、講習講師等の講師雑感コーナーなどを載せ、多岐にわたる編集とした。

- (3) カレンダーについては、掲示して喜ばれるカレンダーとして、個人、団体等を問わず協会に関わる方々からの安全衛生活動や快適職場に係る写真の提供を受けたものを編集、掲示スペースにこだわらないコンパクトな作りにして11月30日に発行した。

3. 支部活動報告

- (1) 那覇支部は、那覇労働基準監督署の指導の下、「那覇支部安全衛生部会」を発足した。活動については、安全衛生管理推進大会や沖縄県産業安全衛生大会、全国産業安全衛生大会等への積極的な参加や事業場視察などの活動を行った。10月16日(月)沖縄県産業安全衛生大会において、喜舎場部会長を先頭に部会委員全員でスローガンに向かい指差唱和の役割演技を遂行し大会を盛り上げた。

2月9日(金)安全衛生担当者のための日帰りバスツアーを開催した。今回で4年目となるこの企画は、異業種の勤労者間で情報交換を図る目的で行われ、那覇支部会員事業場から38名が参加した。沖縄美ら海水族館のバックヤードの安全管理体制や、オリオンビール(株)名護工場の製造工程の研修を行った。

- (2) 中部支部は、支部会員に対し、(中災防)の中小企業支援の一環である、「中小企業無災害記録証授与制度」の活用の広報を活発に行った結果、2事業場が該当の対象となり授与することができた。

安全衛生部会は発足満2年となる。今年の一活動の一例として、沖縄労働基準監督署長を講師に招き、労働災害が発生した場合、事業者の責任の範囲や安全配慮義務違反となるポイント等に関する「安全衛生に関する研修」についての聴講や、部会員の交流促進を図る目的で、「体を使ったコミュニケーションゲーム」の体験学習を行った。

- (3) 北部支部は、6月20日(火)第2回伊平屋地区安全衛生管理推進大会を伊平屋村産業連携拠点センターで開催し、名護労働基準監督署長のあいさつを頂いた。島内の33事業場から約40名の参加者があった。

10月16日(月)支部安全衛生部会では、(株)ミヤギパッケージ、(株)上間菓子店の工場見学を行い、スポットクーラーを設置し熱中症対策が取られていることを確認した。また、11月20日(月)に名桜ボウリングにおいて、第4回勤労者親睦ボウリング大会を開催し、23会員事業場70名余りの参加があり、懇親を深めた。

- (4) 宮古支部は、9月30日(土)に労働衛生週間に向けた第5回ビーチクリーンアップをパイナガマビーチで開催した。清掃をしながら、職場の仲間や家族と心と体の健康づくりに取り組むことの再認識を図る活動を行った。
- また、10月13日(金)に、宮古労働基準監督署と支部安全衛生部会は合同で(株)パラダイスプランの雪塩製塩所の工場視察を行った。案内担当より食品製造業のきめ細やかな品質管理や衛生管理について説明を受けた。
- (5) 八重山支部は、長年馴染み親しんだ石垣市健康福祉センターにあった事務所を大川在の興(おき)ビル2階へ移転し、4月から本格的に稼働を始めた。
- 9月30日(土)八重山労働基準監督署、八重山地域産業保健センター協力のもと、心と体の健康づくり、快適な職場環境の形成に取り組むことをアピールすることを目的に第13回労働衛生週間アピール駅伝を開催し、総勢50人のランナーが参加した。
- 八重山労働基準監督署と支部安全衛生部会は合同パトロールを10月3日(火)(株)創進コンクリートと(株)りゅうせきエネプロ八重山支部の2事業場で実施し、安全衛生管理体制や従業員の健康管理体制のチェックを行った。
- また、10月28日(土)事業場勤労者交流ボウリング大会を開催した。その懇親会では、沖縄産業安全衛生大会表彰者の受賞報告も行われ参加者同士の交流を深めた。

II. 行政及び他の災害防止団体との連携

- (1) 沖縄県産業医研修連絡協議会(9月11日及び12月21日)開催において、衛生管理者免許試験の受験者の推移、合格者の人数等の報告をした。また、メンタルヘルスチェックについての意見交換等を行った。県医師会の大推奨している「おきなわ津梁ネットワーク」登録について、各支部安全衛生大会会場に受付窓口を設け連携を図った。
- (2) 沖縄産業保健総合支援センター運営協議会(9月26日及び2月28日開催)で、ストレスチェック制度の周知と普及、メンタルヘルス対策等で相互に協力しながら、沖縄県の労働者全体の心と体の健康確保と増進の活動を進めている。
- (3) 沖縄労働局及び県内災害防止団体等との連絡協議会(6月19日及び2月5日開催)で、「沖縄県産業安全衛生大会」の開催の取り組みや「各種講習計画表」の作成に向けた調整を行った。10月16日平成29年度沖縄県産業安全衛生大会をロワジールホテル&スパタワーで開催し、350名余の参加者があった。
- (4) 沖縄労働局の提唱する「ひやみかち健康経営宣言」に賛同し、当会総会や大

会等で登録の啓蒙を行った。

また、各支部では、所轄監督署との連携を密に図り、全国安全週間及び全国労働衛生週間に向けた取り組みを他災害防止団体と連絡会議を開催し、地区安全管理大会、労働衛生推進大会を開催した。

(5) 九州安全衛生技術センターの、第1種衛生管理者免許を始めとする10種目の免許試験の沖縄地区特別試験を行った。第1回目は、11月4日、八重山地区試験場、沖縄試験場で実施され、総勢1,320名の受験者が試験に臨み、第2回目は、2月4日に実施され、1,211名が受験した。

(6) 講習会事業を下記のとおり実施した。

<中央労働災害防止協会（中災防）関係>

- | | |
|-----------------------|------|
| ① 腰痛予防セミナー | 1回開催 |
| ② 職場リーダー向けリスクアセスメント研修 | 1回開催 |

<(株)労働調査会関係>

- | | |
|----------------------|------|
| ① 建設業雇用管理研修会 | 2回開催 |
| ② コミュニケーションスキル等向上コース | 1回開催 |

<全国労働基準関係団体連合会（全基連）関係>

- | | |
|--------------------------------------|------|
| ① 介護事業場就労環境整備事業 | 1回開催 |
| ② 学生向け労働条件セミナー | 3回開催 |
| 【沖縄水産高校 182名・美来工科高校 40名・中部農林高校 188名】 | |
| ③ 無期転換ルールセミナー | 4回開催 |

(7) 沖縄刑務所から服役者の社会復帰に向けた職業訓練と併せて作業資格となる、ガス及びアーク溶接講習会の開催要請を受け、2種目を実施修了した。

Ⅲ 事業の実施

1. 労働者の安全と健康の確保事業

(1) 安全及び衛生に対する知識と技術の習得を進めることにより、県内の労働災害を防止するための技能講習等を（8～9ページ）のとおり実施した。

開講実施総数162回、受講者総数は6,634名である

(2) DVD視聴覚教材について、4月から翌年3月までの1年間で265本の貸出しがあった。会員事業場に対する安全衛生教育の支援、サービスを拡充するこ

とができた。

(3) 中災防の中小企業無災害記録証の表彰伝達式を下記のとおり行った。

10月1日 『銅賞』 中部支部会員 コンボルト・ジャパン(株)
2月6日 『金賞』 中部支部会員 (有) 琉球動力

2. 労働保険事務組合事業

(1) 事務組合委託事業場数異動状況として、現在の委託事業場数は187件で、平成29年3月末の167件に対し20件増となった。委託事業場の申告、保険料の集金・納付等の年度更新作業を法定の期限である7月15日をもって、手続きを完了した。

(2) 当協会は、積極的な適用促進業務の取り組み、委託事業場に働く労働者の福祉向上に努めたこと等、特に顕著な功績をたたえられ、11月10日(金)(一社)全国労働保険事務組合連合会会長より表彰(感謝状)を拝受した。

3. 健康診断促進事業

健康診断促進事業の実施について、宮古支部の受診数は1,248名、八重山支部では745名、2支部総計1,993名で、平成29年度の2,156名に対し163名の減数である。

4. 図書用品販売事業

全国安全週間、全国労働衛生週間、年末・年始労働災害防止強調期間等の活動用品及び社内で活用できる書籍、パンフレット等を時期に合わせて案内した。